

第 5 6 回 通常 総会 開催

－ 新 会 長 に 福 島 和 博 氏 －

当協会第 5 6 回通常総会が去る 5 月 2 1 日、KKR ホテル東京において開催された。河野会長があいさつ（後掲）を行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『令和 5 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告』では、(1) 東京港における輸入貨物の取扱数量は 1,740 千トン（検査・重量ベース）、前年度比 6.7% の減少であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが、前年度比 4.9% の増加、パイナップルが 0.8% の増加、キウイフルーツは 28.8% の減少だった。本船コムギは 3.4% の減少となった。一方、コンテナ貨物は、5,383 本減少し、67,802 本だった。こく類は 273 本増加したが、まめ類はダイズが 2,287 本の大幅減で 2,675 本減少した。乾牧草は、ほとんどの品目が減少となり、全体で 2,411 本減少した。ビートパルプペレットが 575 本減、アルファルファヘイキューブ・ペレットが 314 本減と飼料用品目が大きく減少している。野菜類は 106 本増加の 12,927 本であった。主力のタマネギは 180 本減少したが、ナガネギが 445 本増、ニンジンが 217 本増だった。果実は全体で 474 本の増加となった。バナナが 571 本増、キウイフルーツは本船貨物で減少した分がコンテナ貨物として 401 本増加した。切花、切葉、切枝が 260 本増加した。輸出用木材こん包材消毒証明件数は 1,494 件で、前年から 28 件減少した。(2) 令和 4 年度第 2 回理事会の決議に基づき、賦課金・立会料の減額率を 10% にした。本年度の同収入は 15,059 万円（減額の金額 1,640 万円）と前年度比 5.9% 減となり、見込みより 3.8% ほど下回った。(3) 広報活動は、定期的に配信される「東京植検だより」や植物防疫所、全植検協の機関紙をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等により、広く関係者に提供した。また、日頃各地から寄せられる問い合わせ、相談などに適切に対応するなど東京港における植物検疫業務等が円滑、的確、かつ安全に推進されるよう努めた。(4) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、河野会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また、農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況を報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交

換などに努めた。

第 2 号議案『令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）』については、(1) 新年度の事業計画として、円滑な受検業務や広報活動など従来からの基本事業を引き続き推進することと、賦課金等の 10% 減額請求を継続すること、見直される輸入植物検疫制度の随時の改訂に対し、的確に対応すること、各業務を基本に忠実に実行すること(2) 収支予算については賦課金等の減額請求を継続することで、1,830 万円の赤字とする新年度予算を提案し承認された。

第 3 号議案『任期満了に伴う役員改選について』では、まず理事 17 名、監事 2 名が選出された後、臨時理事会において、会長に福島和博氏、副会長に三島哲也氏が新たに選任され、副会長に原雄二氏、専務理事には小野仁氏が留任した。その後、福島新会長からあいさつがあった（後掲）。

最後に、森田横浜植物防疫所長から植物検疫を巡る最近の状況などを交えたあいさつ（後掲）があり、第 56 回通常総会は滞りなく終了した。（佐藤 勉）

河野会長あいさつ

本日は、会員の皆様方にはお忙しい中を東京植物検疫協会第 5 6 回通常総会にご出席頂きまして有り難うございます。

また、本日はご多忙の中、農林水産省横浜植物防疫所の森田富幸所長様、同じく横浜植物防疫所東京支所の村井寛支所長様にご来賓としてご臨席いただいております。どうもありがとうございます。後ほど森田所長様にはご挨拶をお願いしております。どうぞよろしく願いいたします。

これまで円滑に業務を遂行することができていることについては、ひとえに関係ご当局のご指導、会員各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。役職員一同あらためまして心を引き締めて適切に業務を運営していく所存です。

本日は、(1) 令和 5 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告、(2) 令和 6 年度事業計画（案）、収支予算（案）(3) 任期満了に伴う役員改選の 3 議案について提案しております。

後ほど詳しく説明がありますが、簡潔に内容を紹介しますと、令和 5 年度の当協会の貨物の取り扱い状況は、前年に比べて減少しました。特にコンテナ貨物については、取扱い本数は昨年より 5,400 本ほど少ない 6 万 8 千本程度

となりました。

この影響で、賦課金・立会料の収入については、前年度比 5.9%の減少となっております。支出については節約に努め、その結果、総会で承認された予算収支より好転した結果となりました。

令和 6 年度事業計画及び予算（案）につきましては、現在の事業を引き続き実施するとともに、賦課金・立会料の減額請求措置を継続します。昨年秋の第 2 回理事会の決議に基づきその減額率を引き続き 10%とすることを提案しております。

ただし、コンテナ貨物の減少傾向が想定されるどころ、上期の実績によっては本年秋の理事会で減額措置の一時休止の提案を視野に入りたい、と考えております。

また、今回の総会をもって現在の役員は任期満了となります。このため後任役員候補について提案しております。

以上、宜しくご審議のほど、お願い致します。

東京植物検疫協会新役員（令和 6 年 5 月 21 日改選、順不同）

会長	福島和博	兼松株式会社	理事	北條雅人	株式会社ダイトコーポレーション
副会長	原 雄二	東京青果貿易株式会社	“	則竹正敏	望月海運株式会社
“	三島哲也	日本通運株式会社	“	江守 亮	日東富士製粉株式会社
専務理事	小野 仁	東京植物検疫協会	“	稲毛尚之	三菱倉庫株式会社
理事	雲井健司	三菱商事株式会社	“	伊藤伸浩	新興海陸運輸株式会社
“	吉岡佳裕	丸紅株式会社	“	塩田寛史	株式会社三協
“	奥村 隆	三井物産株式会社	“	清水伸太郎	関東港業株式会社
“	山崎夏郎	双日株式会社	監事	富樫治幸	輸入食糧協議会
“	都築貴将	伊藤忠商事株式会社	“	宮尾 徹	海外貨物検査株式会社
“	河野達也	住友商事株式会社			
		住商グローバル・ロジスティクス㈱			

森田横浜植物防疫所長あいさつ



皆様には日頃から植物検疫行政の円滑な実施と推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

植物防疫所では、今年度も引き続き、迅速かつ適切に植物検疫業務を行って参る所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。

この機会に植物防疫所の業務状況を説明いたします。

（植物検疫統計）令和 5 年（2023 年）の全国における数量ベースの輸出入検査実績は、輸入貨物では、全体的には前年に比べておおむね横ばいでしたが、油料・肥飼料・その他雑品（111%）ではやや増加、まめ類（89%）、木材（81%）ではやや減少となっております。

一方、輸出では、前年と比べて切り花（111%）、こく類（120%）、嗜好香辛料・薬染料・その他食品（114%）、木材（141%）が増加した一方、栽植用植物（77%）、生果実（89%）、野菜（47%）は減少、これら以外の栽植用球根、栽植用種子、まめ類、油料・肥飼料・その他雑品類はほぼ横ばいでした。

福島新会長就任あいさつ



このたび会長に選任されました兼松株式会社の福島でございます。会長就任に当たり、ひと言ご挨拶を申し上げます。

東京港という日本有数の貨物量を誇る港において、植物検疫業務を担う当協会の役割は非常に重要であり、検疫貨物の輸入動向や関連法令の改正等、時々的情勢の変化に対応した、円滑かつ的確な業務の実施が求められている、と承知しております。

今後、植物検疫ご当局のご指導、副会長、理事の方々、事務局のご支援、そして会員の皆様のご協力を賜りながら、微力ではございますが、職責を全うする所存でございますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

また、東京港での輸入貨物については、栽植用種子（118%）、こく類（120%）で増加、栽植用植物（85%）、油料・肥飼料・その他雑品類（81%）、木材（32%）で減少、その他はほぼ横ばいでした。

次にいくつかの動きについて紹介します。

（検査証明書添付の厳格化）令和 5 年 8 月 5 日から、貨物で輸入される植物については、輸出国政府が発行する検査証明書の添付が厳格化されました。

一方で、近年は輸出国の確認システムにより検査証明書の真正性を確認できる国・地域が増えつつあり、本年 3 月にはこれに中国も加わったところ。こうした状況の変化や関係する皆様のご協力もあり、厳格化後は現在まで大きな混乱はなく運用がなされているところですが、検査証明書の添付が必要な貨物については検査証明書を必ず添付するよう、引き続き、ご協力をお願いします。

また、現在、穀物や木材等の一部の植物において、郵便事情等により検査証明書の原本の到着が輸入検査に間に合わなかった場合には、検査証明書のコピーがあれば輸入検査とその後の合格証の発行まで行う暫定的な措置を実施していますが、本暫定措置は本年 8 月 4 日に終了

することが予定されていますので、関係者への周知についてもご協力をお願いします。

（危害防止対策） 本年4月1日、労働安全衛生規則等の改正があり、この改正で規定された植物検疫くん蒸作業に関係する事項を反映するため、「植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱」について、くん蒸倉庫の屋内作業におけるリン化水素の抑制濃度を0.3ppmから0.05ppmに変更し、植物検疫くん蒸事業者が整備すべきものとして保護衣・保護眼鏡等の有効な保護具を追加するなど、所要の改正が行われました。

輸入植物検査や植物検疫くん蒸を実施する際には、酸欠や有毒ガスばく露の危険性もあるため、酸素濃度測定等の必要な安全確認作業が実施されているところです。しかしながら、本年、本船積み穀類等の輸入検査開始前のリン化水素ガス濃度の確認中に、その作業に従事した者が酸素欠乏により失神しリン化水素ガスによる化学性肺炎の症状に至る事故が発生しました。幸いにも命に別状はありませんでしたが、本件は死亡事故にもつながりかねない危険な事案でした。このため、改めて安全確認作業に携わる方には、適切な手順で酸素濃度測定を確実に実施するなど、危害防止対策の徹底をお願いします。

（植物防疫法施行規則等の改正（植物検疫措置の見直し関係）） 輸入植物検疫においては、病害虫リスクアナリシスの結果に基づき、平成23年以降、順次、輸入検疫の対象となる検疫有害動植物と輸入植物検疫措置の見直しを行っているところです。

直近の第10次改正では、特に我が国への侵入を警戒している火傷病菌の発生地域に中国を加えるなど、既存の検疫有害動植物21種について植物検疫措置を見直すこと、また、広く国内に存在する19種について非検疫有害動植物として追加するなどの改正が予定されており、現在は、関係規則の改正に必要な検討会、パブリックコメント等の所要の手続きを終えた段階にあります。

（条件付き輸入解禁関係） 条件付き輸入解禁植物に関しては、昨年8月に傷のないものとして選果されたタイ産マンゴスチン生果実、9月にオーストラリア産マンゴウ

生果実の品種撤廃、11月に南アフリカ共和国産ハス種アボカド生果実の輸入解禁が行われました。本年4月現在、28の国・地域から、のべ114品目の植物が解禁されています。これまで条件付き解禁植物の輸入においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け暫定的な対応を行ってきましたが、昨年度から通常の対応に戻っています。輸入解禁植物の輸入に当たっては、引き続き皆様のご理解をよろしくお願いします。

（輸出検疫） 輸出検疫では、国際基準上、病害虫が付着しない程度まで加工されていると判断される小麦粉、赤玉土などの高度加工品は、リモート検査を実施しているところですが、本年4月からは、製材等の輸入検疫の対象としていない植物（輸入植物検疫規程第6条）と凍結植物がこれに追加されました。輸出検査予約システムP-Quickの利用の拡大や登録検査機関の登録促進とあわせて、輸出検疫の手続がさらに円滑に進むことを期待しているところです。

（国内検疫） 国内検疫では、令和5年度、侵入調査事業でミカンコミバエ種群の誘殺事例が、沖縄県、鹿児島県、長崎県、東京支所管内の東京都においても確認され、また、鹿児島県ではアリモドキゾウムシやイモゾウムシの誘殺や確認事例もありました。東京都の誘殺事例など、一部は本年度も継続して対応していますが、関係者の協力の下、トラップの増設、防除資材（テックス板）の設置や寄主植物の廃棄等の初動対策を講じています。

緊急防除につきましては、北海道でのジャガイモシロシストセンチュウ、長野県でのテンサイシストセンチュウ、静岡県でのアリモドキゾウムシに対して実施しています。また、山梨県のテンサイシストセンチュウは、緊急防除とはなっていますが、発生範囲の特定調査や防除が進められています。いずれも、関係者一丸となってしっかりと取り組んでまいります。

以上、簡単に動向を説明させていただきましたが、結びに東京植物検疫協会及び会員各社、皆様方の益々のご発展をお祈りするとともに、植物検疫への一層のご理解とご協力をお願いして挨拶といたします。

----- 会 員 ・ 役 員 の 異 動 （令和6年4月1日～令和6年6月30日） -----

☆入会会員

4月1日	(株) オーシャン・ブルー [商社]	〒651-0097 神戸市中央区布引町2-1-12	☎ 078 (891) 9177
4月11日	(株) クオリフイード [商社]	〒465-0092 名古屋市名東区社台1-309-1	☎ 052 (737) 1009
5月1日	(株) アイステーション [商社]	〒613-0036 京都府久世郡久御山町田井向野40	☎ 0774 (43) 1233
6月3日	(株) 晴佳インターナショナル [商社]	〒125-0062 葛飾区青戸1-9-23	☎ 03 (6657) 7171
6月7日	丸 紅 食 料 (株) [商社]	〒104-0031 中央区京橋1-12-5	☎ 03 (3538) 8788

☆社名変更

4月1日 センコーインターナショナル(株) ← センコー・フローディング(株)

☆退会会員

4月16日 オハヨー乳業(株)、4月30日 チャンピオン商事(株)

☆交代役員

6月27日 理事 関屋 幸信 三菱倉庫株式会社（前任者：稲毛 尚之）

東京港輸入植物品目別統計表

(令和6年1～6月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	35	758,082	19,400	0	0	758,082	19,400
栽植用球根類	個	49	9,351,837	0	0	0	9,351,837	0
アマリリス	"	5	46,512	0	0	0	46,512	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	42	8,813,025	0	0	0	8,813,025	0
栽植用種子	kg	220	2,508,246	1	0	0	2,508,246	1
草花・樹木	"	1	12,282	0	0	0	12,282	0
野菜	"	95	463,885	1	0	0	463,885	1
普通・特用作物	"	46	702,080	0	0	0	702,080	0
牧草・芝草	"	65	1,229,144	0	0	0	1,229,144	0
切花、切葉、切枝	個	1,180	159,940,592	415,477	0	0	159,940,592	415,477
アンズリューム	"	0	80,488	636	0	0	80,488	636
オンシジューム	"	62	2,957,550	2,800	0	0	2,957,550	2,800
シク	"	655	64,396,546	0	0	0	64,396,546	0
シダ(レザーフアン)	"	66	10,368,100	0	0	0	10,368,100	0
果実	kg	4,102	68,648,851	5,289,586	153,396,850	115,749,563	222,045,701	121,039,149
オレンジ	"	595	10,585,621	17,451	0	0	10,585,621	17,451
グレープフルーツ	"	82	1,442,437	0	0	0	1,442,437	0
タンジェロ(ミネオラ)	"	47	984,399	0	0	0	984,399	0
レモン	"	264	4,978,489	17,685	0	0	4,978,489	17,685
パイナップル	"	742	11,172,753	2,540,861	11,417,382	10,517,305	22,590,135	13,058,166
バナナ	"	1,067	17,709,624	2,697,580	122,442,429	105,232,258	140,152,053	107,929,838
マンゴウ	"	37	196,354	0	0	0	196,354	0
キーウイフルーツ	"	266	4,649,429	0	19,528,327	0	24,177,756	0
ブドウ	"	5	73,440	0	0	0	73,440	0
野菜	kg	6,979	142,822,453	1,315,255	648	0	142,823,101	1,315,255
カボチャ	"	507	12,385,494	1,285,375	0	0	12,385,494	1,285,375
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	6	74,078	0	0	0	74,078	0
パプリカ	"	21	175,240	5,785	0	0	175,240	5,785
メロン(ハミウリ含む)	"	15	303,914	0	0	0	303,914	0
キャベツ	"	70	2,017,535	0	0	0	2,017,535	0
セロリ	"	4	60,506	15,095	0	0	60,506	15,095
ナガネギ	"	999	14,690,520	0	0	0	14,690,520	0
ニンニクの芽	"	11	668,435	0	0	0	668,435	0
ハクサイ	"	0	69,990	0	0	0	69,990	0
ブロッコリー	"	44	532,960	0	0	0	532,960	0
レタス	"	202	2,366,000	0	0	0	2,366,000	0
タマネギ	"	2,531	61,966,563	0	0	0	61,966,563	0
ニンニク	"	296	5,689,232	0	0	0	5,689,232	0
アスパラガス	"	0	324	0	0	0	324	0
ゴボウ	"	134	3,491,000	0	0	0	3,491,000	0
サトイモ	"	24	513,548	0	0	0	513,548	0
ショウガ	"	167	3,763,791	0	0	0	3,763,791	0
ニンジン	"	753	19,392,590	0	0	0	19,392,590	0
こく類	kg	4,350	89,805,499	0	79,743,047	0	169,548,546	0
オオムギ	"	25	533,920	0	0	0	533,920	0
エンバク	"	175	3,966,677	0	0	0	3,966,677	0
コムギ	"	25	342,680	0	79,743,047	0	80,085,727	0
コメ	"	1,106	21,596,878	0	0	0	21,596,878	0
ソバ	"	256	5,198,144	0	0	0	5,198,144	0
トウモロコシ	"	180	3,424,629	0	0	0	3,424,629	0
モルト	"	2,507	53,386,489	0	0	0	53,386,489	0
まめ類	kg	4,740	95,077,350	0	0	0	95,077,350	0
エンドウ	"	49	1,086,449	0	0	0	1,086,449	0
ダイズ	"	4,498	90,277,838	0	0	0	90,277,838	0
ラッカセイ	"	86	1,811,617	0	0	0	1,811,617	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,322	37,804,575	0	0	0	37,804,575	0
カカオ	"	4	11,452	0	0	0	11,452	0
コーヒー	"	23	138,725	0	0	0	138,725	0
タバコ	"	289	5,278,910	0	0	0	5,278,910	0
アーモンド	"	655	11,547,051	0	0	0	11,547,051	0
クリ	"	6	95,752	0	0	0	95,752	0
クルミ	"	377	6,493,239	0	0	0	6,493,239	0
ポップコーン	"	325	6,574,252	0	0	0	6,574,252	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	14,183	326,583,186	18,295	0	0	326,583,186	18,295
乾燥牧草(ヘイ)	"	10,645	250,159,270	0	0	0	250,159,270	0
アニマルフィード	"	9	124,022	0	0	0	124,022	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	752	18,980,273	0	0	0	18,980,273	0
コーンコブミール	"	24	563,883	0	0	0	563,883	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	260	6,165,042	0	0	0	6,165,042	0
ビートパルプペレット	"	41	814,457	0	0	0	814,457	0
イネワラ	"	90	1,430,424	0	0	0	1,430,424	0
ココピート	"	354	6,876,131	0	0	0	6,876,131	0
ココヤシ園芸資材	"	47	978,318	116	0	0	978,318	116
ビートモス	"	611	13,633,089	0	0	0	13,633,089	0
ミズゴケ	"	20	31,257	0	0	0	31,257	0
タケ	"	34	514,596	0	0	0	514,596	0
木材	m³	0	0	0	0	0	0	0
** 総合計 **	kg	36,896	763,250,160	6,623,137	233,140,545	115,749,563	996,390,705	122,372,700
	個	1,264	170,050,511	434,877	0	0	170,050,511	434,877
	m³	0	0	0	0	0	0	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。